

7 - 1 本時の指導

職場体験講話から得た職業観を通して「将来の夢」を伝えよう（1/7）

（1）目 標 将来の社会生活をイメージしてみよう。

（2）本時の評価規準

評価の観点	〔学びに向かう態度〕①
評価規準	社会生活を意識した課題を持ち、グループでの話し合い活動に意欲的に取り組もうとしている。
評価方法	ワークシート 観察

（3）本時の工夫点

場面	工夫点（手立て、方法）	理由
展開	・ 将来の社会生活をイメージさせ、「伝え合う」場面を子ども達に確認させる。 ・ これからの単元の見通しを持たせる。	・ これから将来に必要な力を考えさせながら、単元のゴールを確認し、身に付けたい力や学習の流れを確認するため。
	・ これまでの発表や伝える場面を振り返りをさせる。	・ 話す場面を振り返り、良かったところや課題を確認するため。
	・ 「総合的な学習の時間」の職業人講話を振り返る。	・ 伝える内容を確認するため。

（4）展開

過程	学習活動・形態	言語活動に関する指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入	1, 将来の社会生活をイメージさせる。Soeciety5.0 の社会などから考えることを発表させる。 （PP で写真や動画で提示） 2, 単元の目標と学習の流れ、身に付けたい力を、教科書で確認する。	○学習の流れの確認や振り返りを同時に行える学習プリントを配布する。 ○動画を見せ、将来自分たちが生活する社会をイメージさせる。	
展開	3, 相手意識や目的意識を確認する。 4, 写真や動画を見ながら、課題を挙げる。	○生徒たちが、発表してきた様子の写真や動画を提示し、イメージさせる。	【学びに向かう態度】 ○将来に必要な力を考えさせながら、単元のゴールを確認し、身に付けたい力や学習への目標を持つようとしている。 （ワークシート）
	社会生活の中で伝える場面を考え、意見を出し合ってみよう		
	5, 見つけた課題に対する自分の意見を書く。	○課題への見通しを持たせる	
終末	6, 本時をまとめ、ふりかえる	振り返りシートに記入させる	

（5）板書計画

振り返り ・ 社会生活の中で伝える場面を考え、意見を出し合ってみよう。 （ワークシート）	今日の目標 ・ 将来の社会生活をイメージしてみよう。学習の見通しをもとう。	① 社会生活へつなげるよう、根拠を示しながら伝えることができる。 ② 異年齢交流で、相手を意識して分かりやすく工夫して伝えることができる。	職場体験講話から得た職業観を通して 「将来の夢」を伝えよう
--	--	--	--

7 - 2 本時の指導

職場体験講話から得た職業観を通して「将来の夢」を伝えよう（2/7）

（１）目 標 話し合い活動を工夫した「三角ロジック」を使って論理的な「伝え方」をすることができる。

（２）本時の評価規準

評価の観点	〔思考力、判断力、表現力〕 A（１）イ 〔学びに向かう態度〕 ①
評価規準	自分の考えや根拠が明確になるよう話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して伝えている。
評価方法	ワークシート 観察

（３）本時の工夫点

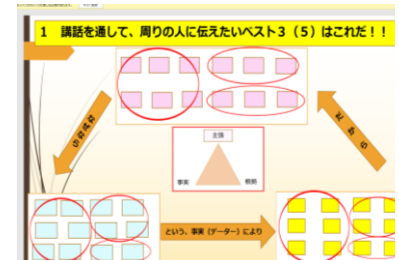
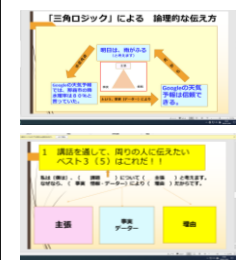
場面	工夫点（手立て、方法）	理由
展開	・「総合的な学習の時間」の資料から集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討させる。	・相手意識や目的意識をイメージさせ発表場面を具体的に意識させることで、必要な情報を選択できるようにするため。
	・「三角ロジック」を用いながらグループで話し合う。	・主張や事実を、根拠を用いながら、話し方を工夫できるようにするため。
	・交流を入れる。	・交流を入れることで、多角的な視点を持ち、相手の考えを踏まえながら、自分の考え伝えることができるようにするため。

（４）展開

過程	学習活動・形態	言語活動に関する指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入	1, 前時の意見を紹介する。 2, 本時の目標と学習の流れを確認する。	○本時の目標や学習活動の流れを確認し、見通しを持たせる。	
展開	講話から伝えたい、ベスト3をグループで話し合ってみよう。 3, 講話から伝えたい内容について意見を出し合い、「三角ロジック」を用いて、意見を出し合いまとめる。 根拠を集め、付箋紙に書き出す。 4 講話内容より写真や記事の選択を行う。 5, 友達と交換し、アドバイスや感想などを交流する。	○伝えたい内容を選択させ、相手意識や目的意識を具体的にイメージさせ、課題や課題解決の方法の根拠を収集する際の手立てとする。 ○前時の構成表をまとめやすくするために、付箋紙を活用する。	【思判表】（１） A イ ○自分の考えや根拠が明確になるよう話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して伝えている。 （ワークシート） 【学びに向かう態度 ①】 ○グループの意見を聞き話し合う工夫をしようとしている。（観察） 〔手立て〕 ○根拠を集められない生徒には、自分の体験だけでもいいことを伝える。また、友人の根拠を参考にしよう交流を入れる。
終末	6, 本時をまとめ、ふりかえる	振り返りシートに記入させる	

（５）板書計画

振り返り

今日の目標
主張、事実、根拠を明確にしながら伝えよう。

職場体験講話から得た職業観を通して「将来の夢」を伝えよう

7 - 3・4 本時の指導

職場体験講話から得た職業観を通して「将来の夢」を伝えよう（3・4/7）

- (1) 目 標
(2) 本時の評価規準

評価の観点	〔思考力、判断力、表現力〕A(1)ア 〔知識及び技能〕(1)ウ 〔学びに向かう態度〕①
評価規準	目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。話し合うことに関心を持ち、グループでの話し合い活動に意欲的に取り組もうとしている。
評価方法	ワークシート 観察

- (3) 本時の工夫点

場面	工夫点（手立て、方法）	理由
展開	・「総合的な学習の時間」の資料から集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討させる。	・相手意識や目的意識をイメージさせ発表場面を具体的に意識させることで、必要な情報を選択できるようにするため。
	・グループで、タブレットを用いパワーポイントで作成していく。	・交流を入れることで、多角的な視点をもち、相手の考えを踏まえながら、自分の考え伝えることができるようにするため。 ・資料を分かりやすく伝えるため。

- (4) 展開

過程	学習活動・形態	言語活動に関する指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入	1, 前時の意見を紹介する。 2, 本時の目標と学習の流れを確認する。	○本時の目標や学習活動の流れを確認し、見通しを持たせる。	
展開	3, 社会生活をイメージしながら相手意識、目的意識を確認する。 4, 前時のワークシートを活用し構成メモを書く。	○相手意識、目的意識の確認し、話し方の工夫に関する「話す」。 ○聞く」領域において小6と中1と系統性の違いを確認し、伝え合う際の手立てとする。	【思判表】A(1)ア ○目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。（ワークシート） 【知識及び技能(1)ウ】 ○相手に分かりやすく伝わる構成を理解している。 【学びに向かう態度 ①】 ○グループでの意見を出し合い話し合う工夫をしようとしている。（観察）
	職業観を通して、伝えたい内容を選択して、まとめていく		
	5, 写真や資料などを使い、内容をまとめる。 6, タブレットを用い、パワーポイントで作成する。 7, グループ内で発表を行う。	○写真や資料などを使い、内容が効果的に伝わるよう工夫する。 ○講話の資料を基に、グループでまとめていく。 ○発表の仕方を工夫させる。	
終末	8, 本時をまとめ、ふりかえる	振り返りシートに記入させる	

- (5) 板書計画

振り返り	伝えること（例） ① 講話内容について 仕事をするとき 大切なこと。 ③ この教科が関連して いくことなど。 ④ 講話を聞く前と、 聞いた後で変わった ことなど。 ＊項目は、グループ で選択する。	今日の目標 ・将来の社会生活をイメージして みよう。学習の見通しをもとう。 職場体験講話から得た職業観を通して 「将来の夢」を伝えよう
--	---	---

7 - 5 本時の指導

職場体験講話から得た職業観を通して「将来の夢」を伝えよう（5/7）

（1）目 標 WEB を通して、グループごとに小6へ伝え合うことができる。

（2）本時の評価規準

評価の観点	〔思考力、判断力、表現力〕A（1）ウ 〔知識及び技能〕（1）ウ 〔学びに向かう態度〕①
評価規準	目的や場面に応じて、情報を整理し、伝え合う内容を検討し工夫している。 社会生活や相手を具体的にイメージし、話し合いに意欲的に取り組もうとしている。
評価方法	観察

（3）本時の工夫点

場面	工夫点（手立て、方法）	理由
展開	・小6の教室全体をWEB（ZOOM）でつないで、発表する。	・国語の授業の枠にとどまらない、異年齢の存在によって、学習意欲を社会生活へつなげるイメージを持つため。 ・WEBを活用することにより、遠隔地にいる人へ情報を発信するため。

（4）展開

過程	学習活動・形態	言語活動に関する指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入	1, 前時の意見を紹介する。 2, 本時の目標と学習の流れを確認する。	○本時の目標や学習活動の流れを確認し、見通しを持たせる。	
展開	・小6の教室全体をWEB（ZOOM）でつないで、発表しよう。 職場体験講話から得た職業観を通して「将来の夢」を伝えよう 3, ○小6と中1の各グループをZOOMでつなぎ、作成した記事をタブレットを使いながら発表を行う。 4, 話し方の工夫、交流の視点を確認しながら発表する。 ○小6へは聞きながら、チェックシートの記入をしてもらう。	○交流の視点を提示し、伝える相手小6に分かりやすく伝えるよう工夫を促す。 小6からのチェック表を示してもらい、それを基に振り返りの視点を示していく。 ○小6は「聞くこと」Bエの「話し手の考えと比較しながら、考えをまとめる」の項目に沿って行う。チェック表にて、発表を聞いての感想を書く。	【思判表】A(1)ウ ○相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 【知識及び技能(1)ウ】 ○相手に分かりやすく伝わる構成を理解している。 【学びに向かう態度 ①】 ○グループでの意見を出し合い話し合う工夫をしようとしている。 (ワークシート) (観察)
終末	5, 単元をふりかえり、学んだことや身に付いた力を確認する。	振り返りシートに記入させる	

（5）板書計画

振り返り

・ 交流の視点
・ 発表の仕方
・ 声の大きさ、話し方
・ 構成の仕方
・ 根拠の示し方
・ 内容

今日の目標
グループごとに小6へ
伝え合うことができる。

② 異年齢交流で、相手を意識して分かりやすく工夫して伝えることができる。

単元の目標
① 社会生活へつなげるよう、根拠を示しながら伝えることができる。

職場体験講話から得た職業観を通して
「将来の夢」を伝えよう

7 - 6 本時の指導

職場体験講話から得た職業観を通して「将来の夢」を伝えよう（6/7）

（1）目 標 小6からのフィードバックをもとに、再構成する。

（2）本時の評価規準

評価の観点	〔思考力、判断力、表現力〕A（1）イ、ウ 〔学びに向かう態度〕①
評価規準	目的や場面に応じて、情報を整理し、伝え合う内容を検討し工夫している。 社会生活や相手を具体的にイメージし、話し合いに意欲的に取り組もうとしている。
評価方法	ワークシート 観察

（3）本時の工夫点

場面	工夫点（手立て、方法）	理由
展開	○伝えた相手から（小6）からのフィードバックを行う。 フィードバックした点を練り直し、記事や伝え方の再構成を行う。	・伝えた相手からフィードバックしてもらい、課題を見つけて再構成することにより、相手を意識した伝える力をつけるため。

（4）展開

過程	学習活動・形態	言語活動に関する指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入	1, 前時の意見を紹介する。 2, 本時の目標と学習の流れを確認する。	○本時の目標や学習活動の流れを確認し、見通しを持たせる。	
展開	小6からの、感想やアドバイスをグループで推敲し再構成をしよう 3, 上手く伝わらなかった点を各グループで付箋等を使い、意見を出し合う。 4, 前時の、小中の各グループでの交流にからの、感想やアドバイスを基にして、推敲を行う。再構成する。	○発表の仕方をフィードバックさせる。 ・声の大きさ、話し方 ・構成の仕方 ・根拠の示し方 ・内容 ○推敲し、再構成を行う際、その個所を、具体的に示しておく。	【思判表】A(1)イ、ウ ○「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるよう話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。 ○相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 【学びに向かう態度 ①】 ○グループでの意見を出し合い話し合う工夫をしようとしている。（ワークシート）（観察）
終末	5, 単元をふりかえり、学んだことや身に付いた力を確認する。	振り返りシートに記入させる	

（5）板書計画

振り返り	・フィードバックの視点 ・声の大きさ、話し方 ・構成の仕方 ・根拠の示し方 ・内容	今日の目標 小6からのフィードバックをもとに、再構成しよう。	②異年齢交流で、相手を意識して分かりやすく工夫して伝えることができる。	単元の目標 ①社会生活へつなげるよう、根拠を示しながら伝えることができる。	職場体験講話から得た職業観を通して 「将来の夢」を伝えよう
------	---	-----------------------------------	-------------------------------------	--	----------------------------------

7 - 7 本時の指導

職場体験講話から得た職業観を通して「将来の夢」を伝えよう（7/7）

（1）目 標 「職場体験講話から得た職業観を通して「将来の夢」を全体発表することができる。

（2）本時の評価規準

評価の観点	思考力、判断力、表現力] A（1）ウ [知識及び技能]（1）ウ [学びに向かう態度] ①
評価規準	目的や場面に応じて、情報を整理し、伝え合う内容を検討し工夫している。 社会生活や相手を具体的にイメージし、話し合いに意欲的に取り組もうとしている。
評価方法	観察

（3）本時の工夫点

場面	工夫点（手立て、方法）	理由
展開	・小6の教室全体を WEB（ZOOM）でつないで、発表する。	・国語の授業の枠にとどまらない、異年齢の存在によって、学習意欲を社会生活へつなげるイメージを持つため。 ・WEBを活用することにより、遠隔地にいる人へ情報を発信するため。

（4）展開

過程	学習活動・形態	言語活動に関する指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入	1, 前時の意見を紹介する。 2, 本時の目標と学習の流れを確認する。	○本時の目標や学習活動の流れを確認し、見通しを持たせる。	
展開	・小6の教室全体を WEB（ZOOM）でつないで、発表しよう。 職場体験講話から得た職業観を通して「将来の夢」を伝えよう 3, ○小6と中1の教室を ZOOM でつなぎ、再構成した記事をタブレットを使いながら全体発表を行う。 4, 話し方の工夫、交流の視点、を確認しながら発表する。 ・5次でフィードバックをもとに再構成をした箇所を示しながら発表する。 ○小6へは感想を記入してもらう。	○交流の視点、発表の仕方を確認させる。 ○5次でフィードバックをもとに再構成をした箇所を示しながら発表を促す。 ○小6は「聞くこと」Bエの「話し手の考えと比較しながら、考えをまとめる」の項目に沿って行う。チェック表にて、発表を聞いての感想を書く。	【思判表】A(1)ウ ○相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 【知識及び技能(1)ウ】 ○相手に分かりやすく伝わる構成を理解している。 【学びに向かう態度 ①】 ○グループでの意見を出し合い話し合う工夫をしようとしている。 (ワークシート) (観察)
終末	5, 単元をふりかえり、学んだことや身に付いた力を確認する。	振り返りシートに記入させる	

（5）板書計画

振り返り	・交流の視点 ・発表の仕方 ・声の大きさ、話し方 ・構成の仕方 ・根拠の示し方 ・内容	今日の目標 「職場体験講話から得た職業観を通して「将来の夢」を全体発表しよう。	②異年齢交流で、相手を意識して分かりやすく工夫して伝えることができる。	単元の目標 ①社会生活へつなげるよう、根拠を示しながら伝えることができる。	職場体験講話から得た職業観を通して 「将来の夢」を伝えよう
------	--	---	--	---	--